

マネー・ローンダリング対策：基礎編

第8回：犯罪動向



現代の奴隷制度、人身売買、環境犯罪、取引を利用したマネー・ローンダリングは、どれも社会に対する大きな脅威となっています。職業会計士は、知らず知らずのうちに専門家として手を貸さないなど、これらの犯罪を防止し、かつ、疑わしい活動を当局に報告するという役割を果たす必要があります。

薬物

薬物犯罪は、1989年に金融活動作業部会（Financial Action Task Force: FATF）*が設立された当時、マネー・ローンダリング対策における重点課題の一つであり、現在でもマネー・ローンダリングの根底にある重要犯罪の一つです。

依頼人や業種からみて一般的と思われるパターンから外れた取引、明確な目的を持たない取引、不明瞭なビジネスモデル、認証されていない資金源には注意してください。暗号通貨やNFT等の新しい資産が新しいツールとして登場する一方で、薬物等が絡むマネー・ローンダリングの多くは、依然として現金で行われていることを忘れてはなりません。

人身売買、現代の奴隷制度、性的搾取

強制労働や性的搾取の犠牲者は世界全体でおよそ2,500万人に上り、1,500億ドルの不正利益を生み出しています。これらは国際犯罪の中でも急速に拡大し、その背景には紛争や気候変動等様々な要因があります。

職業会計士は犠牲者を助け、加害者を見つけ出すため、意味のある変化をもたらすことができます。そのためには次のような関連犯罪を示唆するサインに常に警戒心を働かせる必要があります。

- 通常、専門家を必要としない取引に会計士を関与させること。
- 複数の口座又は法人組織の存在
- 人件費の疑わしい不足
- 従来の銀行システム外にある高リスク国に、現金を送金すること。
- 事業又は取引に親族が関わっていること。
- 明確なビジネス上の合理性のない複雑な金融取引
- 支払いが最終仕向地にたどり着くまでに複数の国を経由すること。
- 異例の時間帯、又は、依頼人が示した営業時間と関連しない時間帯における収入／支出
- 空港、港、その他輸送拠点又は海外で、依頼人が示した事業活動とはつじつまが合わない、高額（又は／かつ）頻度の高い支払い
- 依頼人が示した事業活動とはつじつまが合わない、物流会社、航空会社、長距離バス会社、レンタカー会社、旅行代理店への支払い
- 依頼人が示した事業活動とつじつまが合わない、品目（食費や宿泊費等）に対する、相対的に多額、又は、継続的な支払い

このカテゴリーに含まれる個々の犯罪特有のサインなど、詳しくはFATFの「[Financial Flows from Human Trafficking](#)」を参照してください。

取引を利用したマネー・ローンダリング (TBML)

マネー・ローンダリングの世界に「取引を利用したマネー・ローンダリング (TBML)」という新しいトレンドが生まれています。重要なポイントは、これには通常、資格を持つ専門家の支援が必要だという点です。TBMLは貿易取引を利用して犯罪収益を隠し、違法な資金の出所を合法化したり、テロ活動に資金を供与することにつながります。犯罪者たちはそのため、請求書の偽装、規制を回避するために虚偽の品目説明、その他通関手続き・税務上の違反行為等、違法性のある様々な行為を働くことがあります。

TBMLには、構造的要素や取引行為の性質、取引文書や取引品目に関する指標、そして会計又は取引活動に至るまで、数多くのリスク指標があります。この種の業務に関わる依頼人に対応する職業会計士は、現在の傾向とリスク指標を十分理解しておく必要があります。

詳しくは、FATFの「[Trade-based Money Laundering: Trends and Developments](#)」及び「[Trade-Based Money Laundering: Risk Indicators](#)」を参照してください。

FATFは、アメリカ同時多発テロ事件をきっかけにテロ資金供与にも重点的に取り組んでいます。マネー・ローンダリングとテロ資金供与の大きな違いの一つは、前者は資金源、後者は資金利用に関するものであるという点です。

注意すべき危険信号の例：

- ・ 依頼人は、テロ組織の支援者であるとメディアが報じていること。
- ・ らしからぬ購入
- ・ 高リスク国が相手となっている、少額の送金又は入金

詳しくは、FATFの「[Emerging Terrorist Financing Risks](#)」を参照してください。

新型コロナウイルス感染症とマネー・ローンダリング

犯罪者たちはパンデミックをも利用し、不正行為やサイバー犯罪を働き、経済刺激策を悪用し、国際社会からの資金援助を不正流用しています。オンライン金融サービスや暗号資産の利用増加は、違法に資金を隠すための新たな手段を与えています。物理的なマネー・ローンダリング監視が難しくなったことによって、犯罪者たちは組織の潜在的な脆弱性を悪用することができます。

警戒すべきポイント：

- ・ eメール又はSMSを使ったフィッシング攻撃
- ・ 偽の慈善活動、投資詐欺
- ・ デューデリジェンスチェックや統制の回避を無理に急がせる。
- ・ 国の補助金の不適切な承認
- ・ 通常とは違う取引、資金の流れ

詳しくは、FATFの「[COVID-19-Related Money Laundering and Terrorist Financing Risks](#)」を参照してください。

環境犯罪・野生生物の違法取引

注意すべき危険信号の例：

- ・ 依頼人が、国又は地域の環境規制を遵守している、という証拠を提出できないこと。
- ・ 当該分野に関して十分な知識がない人物による企業買収又は企業投資
- ・ 天然資源の管理・保護に関して責任ある立場にある上級職員の、説明のつかない異動

詳しくは、FATFの「[Money Laundering from Environmental Crimes](#)」及び「[Money Laundering and the Illegal Wildlife Trade](#)」を参照してください。

汚職とマネー・ローンダリング

注意すべき危険信号の例：

- ・ 贈収賄又は汚職行為の関係者として、新聞あるいは調査報告書に掲載されている個人又は組織
- ・ 汚職が蔓延していることで知られる国で行われている取引や当該国に所在している関連当事者
- ・ 法令遵守プログラム又は行動規範を十分に定めていない組織

詳しくは、FATFの「[Laundering the Proceeds of Corruption](#)」を参照してください。



プロのマネー・ローンダリング行為者

マネー・ローンダリングの仕組みはますます高度化、複雑化しています。FATFの「[Professional Money Laundering](#)」に最新のマネー・ローンダリングの手口を25の実例とともに詳しく説明しています。



疑わしい取引の届出 (SAR)

犯罪行為の疑いに気付いた場合、各国の規制当局に届け出てください。一部の国では、職業会計士に対してこれが法的に義務付けられています。

その他の資料



一般的ガイダンスについては、金融活動作業部会 (Financial Action Task Force: FATF) が作成した「[Guidance for a Risk-Based Approach for the Accountancy Profession](#)」を参照してください。適用規制要件等、各国・地域別の情報については、ご自身の所属する職業会計士団体にお問い合わせください。

2022年3月に国際会計士連盟（IFAC）によって、英語で公表された「Anti-Money Laundering, The Basics, Installment 8 - Crime Trends」は、2023年10月に日本公認会計士協会によって日本語に翻訳され、IFAC の許可を得て複製されている。
全てのIFACの文書の正文は、IFACにより英語で公表されたものである。IFACは、翻訳の正確性と完全性、又はその結果として生じる可能性のある行動について一切の責任を負わない。

「Anti-Money Laundering, The Basics, Installment 8 - Crime Trends」の英語文©2022年3月国際会計士連盟（IFAC）。無断複写複製を禁ずる。

「マネー・ローンダリング対策：基礎編 第8回：犯罪動向」の日本語文©2023年10月国際会計士連盟（IFAC）。無断複写複製を禁ずる。

原題：Anti-Money Laundering, The Basics, Installment 8 - Crime Trends

この文書の複製、保管若しくは送信、又は他の類似する使用についてはIFAC の許可書が必要となる。
permissions@ifac.orgに連絡されたい。